

学校 習志野市教育委員会 教育だより

それぞれの”初”



<http://www.city.narashino.lg.jp/kosodate/kyoiku/gakkyodayori.html>

習志野市鷺沼 2-1-1 電話 047-451-1151 (代表)

平成31年4月25日発行 NO.104

おめでとう！春の選抜 準優勝！

習志野高校野球部



1回戦	vs 日章学園	8-2
2回戦	vs 星稜	3-1
準々決勝	vs 市立和歌山	4-3
準決勝	vs 明豊	6-4
決勝	vs 東邦	0-6



雑草の如く逞しく

習志野高校野球部が春の選抜高等学校野球大会で準優勝という素晴らしいニュースから始まった2019年度。市内では4月9日(火)の習志野高校入学式を皮切りに、中学校、小学校で入学式、そして幼稚園・こども園で入園式が行われました。今年度も夢や希望に満ち溢れた園児・児童・生徒が入学・入園しました。

表紙の写真は4月10日(水)に市庁舎で行われた習志野高校野球部の結果報告会の様子です。野球部員の皆さんのたくましい表情に、夏への強い決意を感じました。

今号では今年度の新任校長・教頭・新規採用教職員の抱負をお届けします。

第104号 目次

- ◆おめでとう 習志野高校野球部 春の選抜 準優勝 …… 1
- ◆「習志野」の活躍と新しい時代へ …… 2
(小熊 隆 教育長)
- ◆新任校長の抱負 …… 3
- ◆新任教頭の抱負 …… 4
- ◆新規採用教職員の抱負 …… 5~7
- ◆学校給食センター開所式 習志野高校部活動の活躍 …… 8



「習志野」の活躍と新しい時代へ



習志野市教育委員会教育長 小熊 隆

“習志野高校野球部 第91回選抜高校野球大会 準優勝”…大きなニュースが年度のスタートに飛び込んできました。多くの皆様に御支援と御声援を頂きましたことに深く感謝を申し上げます。選手の皆さんの頑張りは素晴らしく、新チームのスタート以来、一戦一戦力をつけ、甲子園という大きな舞台にたどり着き、持てる力を十分に発揮してくれました。夏の大会に向け活躍を期待するとともに、しっかりと応援していきたいと思えます。

習志野高校の活躍はこれだけにとどまらず、ボクシング部は全国高校ボクシング選抜大会において堤選手のライト級優勝をはじめ、各階級での活躍、体操競技部の全国選抜大会、吹奏楽部の全日本アンサンブルコンテストでの活躍があげられます。また、中学校においては、第一中学校の管弦楽部が全日本アンサンブルコンテストで金賞を受賞し、野球部が全日本少年春季野球大会に出場を果たしました。さらに小学生においては、春季全日本小学生女子ソフトボール大会において県代表である習志野スーパーガールズが3回戦進出という頑張りを見せています。「習志野ここにあり」を全国に示してくれました。習志野教育の良さを広めていただいたことに重ねてお礼を申し上げます。

さて、各学校・園においては新年度がスタートしました。既に芝園に建設した新学校給食センターが稼働し給食を提供しています。最新の設備で調理し、自校給食設備に負けない給食が提供できているものと自負しています。また、夏を迎えるまでに普通教室へのエアコン設置が完了する予定です。さらに11月には大久保地区生涯学習複合施設がオープンします。市民ホールも新しくなり、子供たちにも良い影響を与えてくれるものと期待しております。

このような大きな変化の中で平成から令和の時代に移ろうとしています。学校教育においても、教育の水準を高めていくという目標を達成しなければなりません。そのための教職員の働き方改革（業務改善）にも取り組む必要があります。良い教育を展開するためには当然時間と手間がかかります。ある意味では難しい方程式を解くようなものです。限られた時間を有効に利用するためにも、教育委員会がリードすることはもちろん、各学校・園においても校内組織を立ち上げ、教育活動（内容）の見直しをお願いします。その中で、何としても子供たちの心のケアにかかる時間を確保していただきたいのです。いじめや児童虐待の問題等に起因する子供たちの心の声（悩み）を聞くことが学校に強く求められています。

習志野市ではかつて「3S運動」が展開されました。3つのSとは「スマイル・スピード・スリム」です。まさに今の教育界に求められているテーマでもあります。「温故知新」ではありませんが、この「3S」を大切にして、本年度の習志野教育を進展してまいりますので、引き続きの御支援・御協力をお願いいたします。



教育活動をインスパイアする 幼・小 新任校(園)長

大久保小学校長 荒井 英治



先生方の笑顔、子供たちの気持ちの良い挨拶に
出会い、心待ちにした大

久保小学校での勤務が始まりました。146年の伝統を持つ大久保小学校の一員になることができ、感慨無量です。校長となり、天職である教師として生きてきたすべての力を発揮できるように、使命感とプライドを持ち、日々奮励努力してまいります。



実籾小学校長 鈴木 昭仁



正門を入るとすぐに目に止まる石碑「自然に学ぶ」。本校教育の基本を「理科」に据えてきた証です。本年度は、児童自身の防災意識の高揚や英語学習、特別支援教育の充実に力を注ぐとともに、保護者の方や地域の皆さんの御協力を賜りつつ、「子供の成長」という共通の願いを具現化するために、連携を一層密にしていまいります。

屋敷小学校長 藤木 信弘



新任校長として、子供たちが「学校大好き、先生大好き、友達大好き、そして自分も大好き。」といった気持ちになれる学校を目指したいと思います。そのためには、子供たちが居心地よく、そして自己肯定感を持って生活できる環境づくりと、教職員が一丸となって子供たちの幸せを願い、地域や家庭を巻き込みながら学校を一つの家族と捉えた経営に取り組んでいく所存です。

藤崎小学校長 木下 初恵



新生児97名を迎え、児童数637名で2019年度をスタートしました。今年度の藤崎小学校の合言葉は、「笑顔と感動がいっぱいの学校」です。子供たちの気持ちを全力で受け止め、心豊かにたくましく社会を生き抜く力を育むために、藤崎小教職員が一丸となって教育活動に取り組んでまいります。

実花小学校長 村瀬 富彦



子供たちの明るい笑顔と元気な挨拶に迎えられ、着任しました。情熱あふれる教職員と温かい御支援をくださる保護者・地域の方々の力を結集させ、子供たちが輝く学校を目指してまいります。そして、子供たち一人一人が夢や希望の実現に向けて努力し、“色とりどりの花”を咲かせ、“豊かな実”をつけることができるよう、全力で取り組んでまいります。

藤崎幼稚園長

中宇根 さおり



今年度から独立園となりましたが、引き続き小学校交流の充実を図り、子供たちが毎日笑顔で登園できるような、温かく楽しく、豊かな体験いっぱい園経営を目指していききたいと思います。また、職員や保護者の思いに寄り添い、子供たちのために共に考え、成長を喜びあえるような関係が築けるように努めていきます。

大久保東幼稚園長

布施 恵子

笑顔いっぱい 楽しい幼稚園を目指して

私が日頃より、教師として一番大切にしていることは、職員チーム力です。互いにコミュニケーションを図り一人一人がいつも笑顔で園児や保護者に関わることが、園児や保護者にとって魅力ある幼稚園になると考えます。園児も保護者も職員も笑顔いっぱいになるよう、全力で取り組みたいと思います。



向山幼稚園長 小坂 智子



子供たちが、毎日笑顔で幼稚園で過ごすこと、「げんきいっぱい」「えがおいっぱい」「やさしさいっぱい」で過ごすことができることを目指します。また、先生方が、楽しく主体的に保育できる環境作りをし、地域に愛される幼稚園を目指したいと思います。

教育活動を支える原動力 小・中・高等学校 新任教頭

谷津小学校教頭 寺嶋 耕一

ピカピカの新1年生、さわやかな新規採用の先生と一緒に教頭1年生として、「不拔之志」を持ち成長したいです。校長先生、教務主任の先生との強固な絆を礎に、全職員一致団結してチーム谷津小を築けるよう全力を尽くします。そして児童も先生も日々楽しく、充実した日々を過ごせる学校を目指します。



大久保東小学校教頭 徳武 義裕

教頭は、教員のリーダーであり、職員室の担任と言えます。常に職員の仕事の様子や子供たちとの関係、体調面などに目配り気配りができるようにしたいです。また、教職員は日々、たくさん業務を抱えながら子供たちのために取り組んでいます。悩みを共有し、共に行動できる教頭でありたいと考えます。



袖ヶ浦西小学校教頭 河村 幸枝

満開の桜と笑顔輝く子供たち、そして二頭の鹿(リリとモモ)に迎えられ、袖ヶ浦西小に着任しました。頼られているという小さな誇りと、大きな責任を感じております。学校・家庭・地域との要になれるよう、誠心誠意努めていきたいと思っております。子供たちの笑顔のために頑張ります。



東習志野小学校教頭 近藤 篤史

先生方、そして子供たちに温かく迎えていただき、センターから道を渡って東習志野小に着任いたしました。笑顔の花がたくさん咲く学校にしていけるよう、頑張っていきます。東習小の校歌には「若鳥」という言葉がたくさん出てきます。900名を超える若鳥が大空にしっかり羽ばたいていけるよう、皆で育てていきます。



秋津小学校教頭 田中 紀代美

秋津小は、学校、家庭、地域が三者一体となって子供たちを育てています。どんなときにも、子供たち、教職員、保護者、地域など様々な方たちの話に耳を傾けるとともに、笑顔で心をかけています。子供たちや教職員一人一人が輝けるように邁進してまいります。



香澄小学校教頭 川井 由紀

本校は、「笑顔とやる気があふれる学校」を目指しています。始業式に出会った子供たちは、正に、「笑顔いっぱい・やる気いっぱい」でした。この笑顔が更に輝くように、子供たち一人一人が「わかった・できた・友達と先生と一緒に楽しい」と思える毎日を香澄小学校の職員の皆さんと協力してつくっていききたいと思っております。



谷津南小学校教頭 毛塚 晴久

ふと窓の外に目をやると、煌めく水面を鳥の群が飛び交っています。ここで力を蓄えた鳥たちは遙か遠くの世界まで羽ばたくのでしょうか。こんな素晴らしい環境のもと子供たちの教育に携われる喜びを感じながら、地域の方々と共に、みんななかよく、みらいに羽ばたく学校として発展できるよう、力を尽くしてまいります。



第一中学校教頭 富田 政芳

「教頭先生」と呼ばれる度に立場と責任の重さをしみじみと感じます。今回このような形で母校に着任できたことに感謝し、家庭・地域と連携を図りながら学校の更なる発展のために貢献できるよう頑張ります。



第四中学校教頭 合田 聖

子供たちに対しては勿論、全教職員が安心して、元気に教育活動に当たれるよう尽力いたします。そして、校長をしっかりサポートし、学校教育目標の達成を目指して学校経営に関わっていく所存です。不安や責任も感じてはおりますが、それ以上に希望ややりがいを感じております。『四中魂』にプライドを持って頑張ります。



第六中学校教頭 梅原 義秀

満開の桜の下、子供たちの素敵な笑顔に迎えられ、第六中学校に着任いたしました。教頭としての使命感をもち、学校教育目標の実現に向けて全力で職務にあたります。そして、平成から令和へと時代が移り変わる中、第六中学校の歴史と伝統をしっかりと受け継ぎ、さらなる発展に向けて誠心誠意取り組んでいきます。



明るく！元気に！さわやかに！ 新規採用教員（小学校）



津田沼小 小嶋 啓太

クラス、学年、学校が大好きな子供たちを育てたいです。学び続ける姿勢を大切に精進していきます。



津田沼小 佐藤 茜音

思いやりを持って行動し、協力して互いに成長できるクラスをつくりたいです。



津田沼小 村松 由季代

「ありがとう」の言葉であふれる教室にし、「謙虚な心」「笑顔」「元氣」に頑張っていきます。



大久保小 稲葉 星衣南

元氣と笑顔が溢れる学級を目指します。一人一人の可能性を伸ばして何事にも挑戦する子供を育てたいです。



大久保小 久米田 侑希

子供たちと一緒に、楽しい学校生活を送ることができるように、毎日元気に頑張ります！



大久保小 大槻 みのり

子供一人一人が持つ力を引き出し、良さを伸ばす教師を目指します。常に笑顔で頑張ります。



谷津小 秋元 由理

子供たちが毎日笑顔で登校してくれることが私の夢です。子供の前に立つ人間として自分を磨き続けます。



谷津小 佐川 朋子

周りと自分を大切にし、精一杯頑張る子供を育てられるよう、凡事徹底を大切に成長していきます。



谷津小 北村 康太郎

私は児童一人一人に寄り添うことができる教師を目指しています。多くのことを学んでいき自分の力にします。



谷津小 土岐 香苗

子供たちが、将来自分や大切な人の健康を守れるように、日々の関わりを丁寧に積み重ねたいです。



鷺沼小 高橋 真実

私の夢は、大人になっても「私って幸せ」と思える子供を育てることです。笑顔で楽しい授業をつくりたいです。



鷺沼小 大野 泰輝

教員であるということの自覚と責任をもって、さわやかに頑張っていきます！



鷺沼小 嶋崎 涼司

児童一人一人と真剣に向き合い、成長を支えていける教師になりたいです。



鷺沼小 宮島 佑太

4月から教師になり、未熟なところが多くありますが、子供たちと一緒に笑顔で成長できるように頑張ります。



袖ヶ浦西小 鷺 里美

子供が大好きです。子供の今と未来が幸せであってほしいと願っています。そのために、精一杯頑張ります。



東習志野小 小田島 明

自立や人と共に生きる心を育て、子供たちがお互いを認め合える、仲の良い学級を目指して精一杯頑張ります。



東習志野小 西村 あかね

毎日新しい発見や感動があり、この仕事の楽しさを感じ始めています。力のある教員を目指します。



東習志野小 南 汀紗

子供たちの「上」に立つのではなく、子供たちを導くという「先(頭)」に立つ教員を目指します。



東習志野小 藤崎 百恵華

常に責任感を持って業務に携わり、より良い学校づくりに貢献できるよう精一杯頑張ります。



屋敷小 松家 綾乃

たくさんの子供たちと一緒に、常に学び続ける姿勢を忘れずに取り組んでいきたいです。



屋敷小 塚原 奈央

子供たちが毎日学校に楽しく通えるようにしていきます。そのため、常に真剣に子供たちと向き合います。



屋敷小 白井 まこ

自分がなぜ教師を志したのかという初心を忘れず、目の前の子供たちと真摯に向き合い続けたいです。



藤崎小 秋山 杏奈

子供の心に寄り添い、子供と共に学んで成長していける教員でい続けられるようにしたいです。



藤崎小 三浦 美衣

まずは自分自身が健康で！そして、子供たちに元気と笑顔を与えられるような養護教諭になりたいです。



実花小 宮田 めぐみ

様々なことに挑戦し、日々努力を積み重ね、子供と共に成長できる教師を目指します。



向山小 田松 楓

素直で明るい子供たちの良いところを認めたり、苦手なところを励ますような関わりをしていきたいです。



秋津小 島貫 マリア

子供の良いところを見出し、伸ばすことのできる教員になれるよう、日々励んでいきたいと思います。



香澄小 平田 裕樹

子供たちが大人になったとき、大切な思い出として記憶に残るような日々を子供たちと作り上げていきたいです。



谷津南小 高橋 海斗

クラスの一人一人と向き合い、子供たちから信頼されるような教員を目指していけるように頑張ります。



谷津南小 井上 敬

子供の未来を明るく広く照らしていける教師になれるよう、自覚と責任をもって精進していきます。

明るく！元気に！さわやかに！ 新規採用教員（中学校・高校）



第一中 秋本 大樹

日々自己研鑽に努め、身に付けたすべてのことを子供たちのために発揮していきます。



第三中 竹元 大明

私は、県を代表する理科教育者になりたい。特に、理科に対しての情熱は誰にも負けない教員になりたい。



第三中 森山 夏妃

教材研究を重ね、様々な意見が飛び交い、国語が面白いと感じてもらえるような授業を目指して頑張ります。



第四中 仲村 真帆

少しでも多くの生徒に美術の楽しさを伝えられるように、生徒と向き合い、共に成長していきます。



第四中 安食 演美

子供たちが笑顔で過ごせるように、精一杯サポートします。子供の心に寄り添い、共に成長したいです。



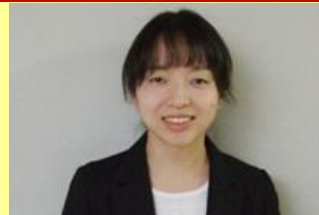
第五中 鳥光 佐和子

担任として生徒と一緒に過ごせることを嬉しく思います。この気持ちを忘れず生徒に誠実に向き合いたいです。



第六中 上田 祐香

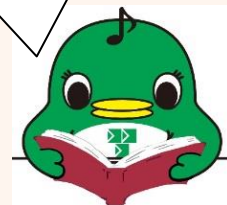
笑顔で生徒と向き合っていきたいと思えます。厳しさの中に優しさを持ち続けられる教員を目指します。



習志野高校 西川 のぞみ

子供たちの良さを見つけ、伸ばすことのできる教師になれるように頑張っていきたいです。

Choosing a goal and sticking to it changes everything. (Scott Reed)
目標を選択し、それにこだわり続けることがすべてに変化をもたらす



明るく！元気に！さわやかに！ 新規採用教員（幼稚園）



谷津幼稚園 尾崎 志津子

日々の園生活を大切に、子供とともに学び、子供とともに成長できる教師になりたいです。



藤崎幼稚園 吉村 愛美

幼い頃からの夢である「先生」として、大好きな子供たちと共に自分自身も大きく成長していきたいです。



向山幼稚園 砂金 佳奈

一日一日を大切に、子供たちが毎日笑顔で楽しい園生活を送れるようにしていきたいです。

学校給食センター 開所式

平成31年3月25日に新しい学校給食センターが完成し、開所式が行われました。



開所式テープカットの様子

センター正面↑
搬出口→

昭和47年から、当初は市内中学校も含めた小学校・幼稚園の多くの子供たちの給食を支えてきた学校給食センターは津田沼の地を離れ、芝園地区に新たに建替え・移転を行い、4月から新しい学校給食センターとして給食の提供をスタートしました。

この度の建替えにおいては、より良質な学校給食の提供を効率的かつ効果的に実施することを目的に、施設設備・運営にPFI手法を取り入れております。献立作成や食材調達を引き続き市が行いますが、施設整備や維持管理に加え、調理から配送等を含む幅広い運營業務はPFI事業者委ねることでより安全で衛生的な学校給食の提供が可能となります。新施設の完成により、安全で安心な給食のための衛生管理徹底のため、ドライシステムの導入及び汚染・非汚染作業区域の明確なゾーニングの導入、より豊かでおいしい給食のための調理機能の充実として、多様な献立に対応できる高性能調理機器・適切な保温食缶等の導入、近年増加する食物アレルギーを持つ児童生徒・園児に対する給食が除去食を基本に、アレルギー専用調理室を設置することでアレルギー対応食の提供ができるようになりました。

学校給食は、栄養バランスが取れた食事を提供することで望ましい食習慣を身に付け、みんなで一緒に楽しく食べることを通じて豊かな人間関係をつくります。

子供たちにとって給食が素晴らしい思い出になるように、私たち学校給食センターを運営する栄養士をはじめ職員一同は、パートナーシップを組むPFI事業者と協力して未来を担う子供たちに、“まごころ”を込めたおいしい給食をお届けして参ります。

習志野高校 部活動の活躍(3月)

野球部	第91回選抜高等学校野球大会	準優勝 【応援団 優秀賞】
ボクシング部	第30回全国高等学校ボクシング選抜大会	バンタム級3位(茂木 優耀 2年) ウェルター級3位(松永 敦朗 2年) ライト級優勝(堤 麗斗 1年) *JOCジュニアオリンピックカップ受賞
体操部	第35回全国高等学校体操競技選抜大会	女子個人38位(萩原 初奈 2年) 女子個人45位(星野 楓乃 2年)
吹奏楽部	第42回全日本アンサンブルコンテスト	銀賞(矢吹琴美2年、岡本優衣2年、 竹下友唯2年、遊馬綺華2年)